

法人(事業所)理念		可能性を探索し続けよう	
支援方針		・子どもの興味を尊重し、子どもたちの良いところ、得意なことを見つけ、個別に活動を提案し、子どもたちの挑戦を促し、成功体験を積み重ねる環境を作ります ・自己表現の機会を提供し、創造性を育むプログラムを実施し、継続的なフィードバックとサポートによって成長を支援します ・家族との連携を強化し、包括的な支援を提供する中でスモールステップで、お子さん一人一人の自立に向けてサポートしていきます。	
営業時間		平 日 10時30分 から 19時00分まで 学校休業日 8時30分 から 19時00分まで	送迎実施の有無 あり ※送迎対象校や送迎対象エリアによる制限あり
		支 援 内 容	
本人支援	健康・生活	学校やご家庭と連携し、その日の利用者様の健康・精神面の状態を把握します。また、登所時には必ずバイタルチェックを行い、記録します。 ・食事、排泄、衣類の着脱などの生活に必要な基本的動作について、スモールステップ・繰り返しの支援で身辺自立を促します。 ・障害の特性に配慮し環境を整えることで、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し、生活リズムの獲得と、見通しを持つ力の育成を目指します。	
	運動・感覚	身体を存分に動かし、身体(感覚)運動の発達に取り組みます。 ・ミニサーキットトレーニング:体幹を鍛える活動やバランス感覚を養う活動・体操やストレッチを通して、姿勢保持や動作の改善、習得を促していきます。 また、ボディイメージやボディコントロール力へのアプローチを行っていきます。 ・必要に応じて姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用して姿勢保持や運動動作ができるよう支援します。 ・工作や指先を使う遊びを通して、微細運動・皮膚の感覚を促していきます。	
	認知・行動	空間・時間、数等の概念形成の習得や、個別・小集団を通じた認知の発達と行動の習得を目指した支援に取り組みます。 ・概念形成:ブロックや積み木、色合わせなど様々な作業訓練を通して形・色・音・数の概念や、時間・空間把握能力の習得を目指します。 また、それらの概念の形成を図ることによって、それを生活の中で活用できるよう支援します。 ・生活訓練:集団の流れに沿った行動ができるよう、認知の特性を踏まえた療育を行っています。(情報の視覚化、伝え方の工夫など) また、こだわりや偏食等に対する支援を行います。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。	
	言語 コミュニケーション	要求、報告、聴く、模倣、観察など自分も周りの人も大切にすることを学びます。 ・具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける事により、言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。 ・各種の文字・記号、絵カード、ジェスチャー等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援します。	
	人間関係 社会性	SSTや普段の遊びを通して順番、交代、役割、ルール、指示に沿った行動をするなど、社会に適応するために必要なスキル獲得を支援します。 また、自己の行動や感情に気付いたり、対処法を考えるなど気持ちのコントロールやストレスの発散方法などを考えます。 ・遊び等を通じて人の行動を模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。(職員のロールモデル化) ・大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。 ・利用者様の発達段階に合わせた遊びを利用して、徐々に他者との関係を築き、社会性が発達するように支援します。	
家族支援		・保護者面談(適宜)・保護者会の開催 ・広報紙の定期発行・その他関係機関との連携	移行支援 ・進学先・就労先、施設との情報共有 ・認知の発達に合わせて、社会生活力プログラムに取り組みます
地域支援・地域連携		・各関係各所との連携(市川市こども部発達支援課、相談支援事業所、学校など) ・児童通所連絡会への参加	職員の質の向上 ・内部研修 ・外部研修 ・資格取得支援
主な行事等		季節行事:季節にちなんだ活動、工作やイベント行事を定期的に実施しています(防災訓練、節分、鯉のぼり、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、野外体験など) 外出活動:公園遊びの他、遠足や地域施設などの社会資源の活用 園芸活動:季節の収穫体験(芋ほり・夏野菜など)	